

NSF発表 FFRDC(連邦研究開発センター)雇用のポストドク研究者、2010年は3,000人超

(4月25日)

米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) が発表した報告書によると、全米にある 39 の連邦研究開発センター (Federally funded research and development center : FFRDC) のうち、22 機関において 2010 年には合計 3,011 人のポストドク研究者が雇用されており、その 4 分の 3 は男性であったことがわかった。また、就業者全体の 60% が短期ビザを取得した外国人研究者で、その中で男性が占める割合は 78% であった。一方、米国市民及び米国永住権保有研究者に関しては、男性が 72% を占めており、人種別では白人 75%、アジア系 14%、ヒスパニック系 4%、黒人 1% となることなどが明らかにされた。研究分野別では、全体の 75% が科学分野、23% が工学分野での研究に従事しており、科学分野の中で最も多いのが、物理学・天文学で 31%、次いで化学が 18%、生物科学と地球・大気・海洋科学が 8% となっている。一方、工学分野では材料・金属工学が 8% と最も多く、次いで機械工学、化学工学がそれぞれ 4% となっている。

なお、本報告書は、<<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf13321/>>から閲覧可能。

National Science Foundation, Federally Funded Research and Development Centers
Employed More Than 3,000 Postdoctoral Researchers in 2010

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=127756&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click